
編集後記

教育学部内措置による「中等教育研究センター」の発足が教授会で認められたのは、1999年4月であった。センターの規定はつくられたものの、人的・経済的・施設の措置が無いこともあって、センターとして体系だった取り組みはまだ十分ではない。とはいえ、中等教育に関する実質的な研究そのものは、学部・研究科と附属が密接に連携しあって、着実に進められてきている。学部・研究科の研究紀要、附属の研究紀要をはじめ、科研費などの各種研究報告書、さらには出版刊行物がコンスタントに発行されている実績を見ても明らかである。

このセンター紀要創刊号では、研究紀要の通常のスタイルのように学術論文で埋め尽くすというよりも、次のような編集方針をとった。つまり、附属学校の（併設型）中高一貫教育校への移行や、そこでの研究課題などについて、たとえ素朴なアイディアや大胆な提案であっても、これから中等教育について本格的に検討すべきスタートとして重要な意味をもつものとして記録する、という方針である。講演やシンポの記録が中心になったのもそうした趣旨であるということで、ご了解いただきたい。

幸いにも、2001年2月に、附属学校に最新の情報システムを完備したすばらしい総合情報教育棟が完成し、その一角にセンター室がとりあえず設置されたのは特筆すべきことであった。このセンター室を中心に、中等教育研究がいっそう活発になるとともに、センター研究紀要も発展することを期待したい。そして、我がセンターがゆくゆくは全国の中等教育研究の拠点として、さらには世界の中核研究施設の一つになるという夢をいだいていきたい。（今）

中等教育研究センター紀要 第1号

2001年3月25日 印刷

2001年3月30日 発行

編集者・発行者 名古屋大学大学院教育発達科学研究科
中等教育研究センター

代表者 安彦忠彦

名古屋市千種区不老町 〒464-8601

印刷所 新協和印刷株式会社

名古屋市瑞穂区新開町25-6 〒467-0856
